

## ノーリ

フィナルボルゴからバスで 20 分、リグリア海の海岸線の街ノーリに到着します。ここも、フィナルボルゴと同様に、「最も美しい村」に選ばれ、そして、「小さな街・村」の本にも載っているダブル選定された街です。しかし、フィナルボルゴとはかなり趣が違います。その理由は海です。フィナルボルゴからのバスは、フィナーレ・リグレ・マリーナを通り、直ぐに海岸線に出てそこをノーリまで走ります。ちょうど、伊豆半島の海岸線を走るような感じで、左には崖、右は海となっているきれいな道路です。唯違うのは、その海が太平洋ではなく地中海なのです。地中海の海の色は、海岸近くが所謂エメラルド色で沖は真っ青でとてもきれいです。日差しも強く、バスの中にいると夏ではないかと思うくらいです。浜辺には、椰子の木が並び南国のような感じさえもします。日本でもそうですが、晴れた日に海岸線を車で走ると、気分がすっきりしますよね。

ノーリは、この地域の他の街と同じような歴史を持っています。10 世紀にはその名が地図に出ていて、11 世紀には自治都市となっていますので、その頃からの 17 世紀までに建てられた歴史建造物があります。特に、塔が多く、それが、「最も美しい村」に選ばれた最大の理由だと思います。バスから降りたのは海岸線の道です。その道から、反対側の街のはずれの山の上にあるお城が見えます。また、山登りになるのかとちょっと気後れしましたが、まずは、地中海の砂浜に降りました。白い砂、青い海と空、周りの山々と申し分ない景色です。



山登りをする前にまずは街歩きからです。浜辺から海岸通りを越えて街に入ると、まず、古い教会が目に入ります。サン・パラゴリオ教会です。



紀元 4 世紀後半から 5 世紀に建てられた古い教会の上に 11 世紀に建てられたロマネスク建築の教会で、リグリア州では一番きれいなロマネスク建築の建物とのこと。この教会は現在使用されてなく、中に入るには入場料 2 ユーロを払います。とても美人の若い女性とお兄さんの 2 人が机を置いて入場券を売っていました。女性のほうは英語堪能で、しかもとても親切です。つい長居したくなります。美人の女性だけでなく、教会の中もなかなかのものでした。下の写真にありますに、漫画のような顔の大きなキリスト像だけはノーフラッシュですが、その他はフラッシュ撮影も OK です。また、古い教会の遺跡もちゃんと管理されていて見る事が出来ます。



続けて、街の中心にあるサン・ピエトロ大聖堂に入りました。この教会がノーリの教区教会です。12,3 世紀のロマネスク建築の教会を 16 世紀にバロック建築に改装しています。見ての通り、下半分はロマネスク建築です。中は豪華なバロック建築でした。



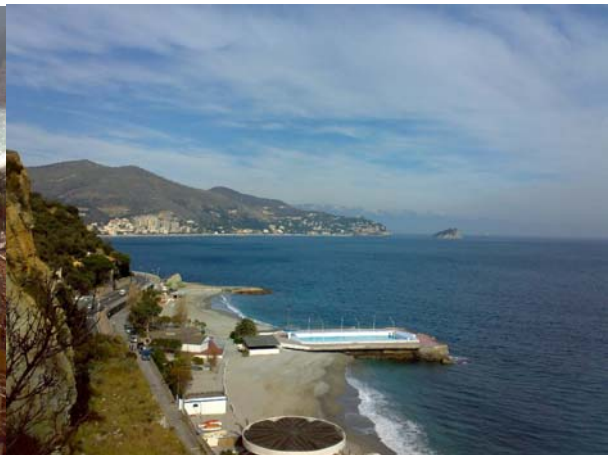
この教会前の広場から、モンテ・ウルシーノのお城がよく見えます。教会の周りはノーリの旧市街です。教会前の石畳の通りを西に向かって進むと城壁があり、街の入口の一つでもあるサン・ジョヴァンニ門（14 世紀）があります。このアーチ型の門の上にも塔があります。この街も 13,4 世紀には城壁で囲まれていたことがわかります。このあたりの城壁は今にも崩れそうで、修復中でした。また、この街の特徴でもある 13,4 世紀に建てられた塔や宮殿もこの旧市街にいくつか見ることが出来ます。サン・ジョヴァンニ門以外の塔はレンガで建てられています。また、小さな路地には、建物の間には、フィナルボルゴと同様にアーチがあり、お互いの建物を支えあっています。旧市街の道は、平らで歩きやすくセンスの良い黒い石畳です。





街中を歩いた後は、いよいよお城です。街中から何度も見ているうちにお城に登る決心ができました。街中の道から細い抜け道のような登り道に入ると、まず2つのアーチと塔があります。グレイの石のアーチは、城壁で、この城壁が山頂のお城まで続いています。この城壁沿いに山を登っていけばお城まで行く事ができると思い、城壁沿いの小道を登ることにしました。しかし、この考えは間違いで、実際には、登頂まではたどり着くことが出来ませんでした。この道を登っていくと先には、聖域教会と小さな礼拝堂があり、その先には墓地がありますが、そこで道は切れていました。そこから、お城を見ると、まだはるかに高いところにありました。多分、お城へは裏の車の通る道から登るのだと思います。でも、山の上からの景色はすばらしく、お城にたどり着くことは出来ませんでした。汗をかきながら登った甲斐はありました。





それにしても、街を守るためのお城がなぜこんな山の上にあるのでしょうか。作るのも大変でしょうが、そこに観光に行くのも大変です。その理由は、お城は、領主の住居でもあるので街を見渡すところにある必要もあったのでしょうか、それだけではなく、街が外敵による攻撃を受けたときに、まず、街の周囲の城壁で街を守るのですが、それでは耐え切れなくなったときの最後の砦でもあったそうです。もう、駄目だと感じたときには、街の人々は最後の避難場所としてお城にこもって最後の戦いに望んだのです。ですから、お城には、街の人が入れるスペースと数ヶ月の街の人の食料を保存する為の地下貯蔵庫があったそうです。お城での戦いに耐え抜くと、敵が諦めていなくなった後に人々は街に戻り、戦いで破壊された街を建て直して、元の生活に戻ったそうです。領主も街の人々も一致団結して

戦いに望んだのでしょうか。このあたりが、イタリアが国ではなく個人の出身地を大事にするものの基盤になっているのかもしれませんが。

それにしても、晴れた日の海はいいですね。下記の写真は海辺の景色です。気分が晴れます。海辺にはホテルもいっぱいありました。夏にはかなり賑わう所だと思います。



フィナルボルゴからノーリまでは、バスで20分です。バスのチケットは運転手から購入可能ですが、1ユーロのコミッションを取られます。従って、料金は2.6ユーロでしたが3.6ユーロ払いました。でも、海岸沿いの道のドライブは気分爽快でした。ノーリから一番近い駅はスポトルノです。ノーリから同じバスで海岸線を5分のところですが、歩くにはちょっとした距離があります。こちらでもコミッションが必要ですから、2.5ユーロ+1ユーロとなります。スポトルノでは、バスは海岸通りに停留所がありますので、スポトルノの駅までは停留所から10分弱歩かなくてははいけません。ここでも、親切なイタリア人が駅までの道筋を丁寧に（イタリア語で）教えてくれました。でも、山のほうに向かって真直ぐ歩くだけなのでそれほど難しい道筋ではありません。スポトルノからは普通列車でロゴレドまでは直通でした。チケットはスポトルノ（11.5ユーロ）ではなくフィナーレ・リーグレ・マリーナ（11.8ユーロ）からとなっていました。0.3ユーロ余分に払っているのですから当然ですよ。